

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	社会福祉推進事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二			
会計情報	事業コード	440101	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 112 頁
施策体系	施策コード	050201 施策名 共に支えあう地域福祉を推進する								
計画期間	開始年度	昭和26年度		終了予定年度	令和2年度 関連計画名					
根拠法令等	社会福祉法									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・近畿ブロックや京都府内の福祉事務所長会議を通じて、各市との情報交換や情報共有をすることにより福祉行政の推進を図る。 ・管理主管課である社会福祉課が業務に必要な機器等や物品の管理、購入を行うことによって、福祉事務所の業務を効率的かつ円滑に進める。 ・「社会福祉法人・社会福祉施設の適正な運営の確保」、「不祥事の未然防止」、「福祉サービスの質の向上」等の観点から、機動的・効果的な指導監査を実施する。								
対象者	近畿・京都府内福祉事務所長、福祉保健部各課職員、市内社会福祉法人		対象者数	270		単位あたりコスト	71.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	-								

事業概要 (箇条書き)	・福祉事務所長会議等(近畿ブロック都市福祉事務所長連絡会議、京都府下14市福祉事務所長会議、北部7市福祉事務所長会議)への参加に係る経費。 ・福祉事務所及び社会福祉課におけるコピー機、リソグラフ等の維持管理やコピー用紙等の物品購入を行う。 ・社会福祉法人指導監査事務に係る経費。 ・社会福祉指定寄附金事務に係る経費。								
-------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容	
	旅費	64		
需用費	763	消耗品費、印刷製本費、修繕料		
役務費	324	郵送料、電話代		
使用料及び賃借料	691	コピー機、印刷機賃借料		
負担金補助及び交付金ほか	1,724	負担金補助及び交付金39,320円、積立金1,684,360円		

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,766	4,414	4,179	4,130				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,766	4,414	4,179	4,130					
予算財源内訳	① 一般財源	2,266	2,414	2,179	2,130				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,500	2,000	2,000	2,000				
決算情報	① 流充用額	474	151	0	0				
	② 配当予算	4,240	4,565	0	0				
	③ 執行額	3,899	3,566	0	0				
	④ 執行率	91.9%	78.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	2.21/0	1.95 /	1.95 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	17,680	15,600	15,600	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	21,579	19,166	15,600						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	社会福祉指定寄附金	種類	民生費指定寄附金	実績金額	1,684	決算付属資料	36	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	府内14市・北部7市福祉事務所長会議への開催	回	3 / 3	1 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		844.66	3899.00	1188.82		
	社会福祉法人監査実施数	回	14 / 14	9 / 9	8 / 8	/ 7	計画に基づいた適正な指導監査の実施
	単位あたりコスト		181.00	433.20	445.81		

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	福祉行政の円滑な推進のため必要な事務経費である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	必要最低限の支出に抑えている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	福祉事務所長会議を通じて情報を入手し、各市との連携を図る機会となる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>福祉事務所の円滑な運営を進めるとともに、福祉事務所長会議等を通じて情報交換・情報共有を図ることができた。福知山市社会福祉法人指導監査実施方針及び実施計画に基づき、社会福祉法人の適正な運営を確保することを主眼として指導監査を実施した。福祉向上のためにご寄附いただいた方に対して適切丁寧に応ずるとともに、社会福祉費指定寄附金として速やかに納入、また基金への繰入について適正な事務処理を行った。 (定性的評価)</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>市議会、棚卸し、経営戦略会議、理事者説明用資料など膨大な資料作成で、コピー代などの経費が高んでいる。今後においても適切かつ効率的な事務執行に努め、経費節減を図る。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: 社会福祉協議会活動費等補助事業、地域福祉推進事業) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	福祉バス運営事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課					所属長	大西健二		
会計情報	事業コード	440104	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 112・114 頁
施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する						
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	・市主催事業の円滑な運営や災害時等の緊急時の車両として活用する。 ・リフト付きバスであることから、障害のある方等を対象とする事業の利用を優先する。								
対象者	全市民	対象者数	77,581	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス株式会社・有限会社浅田自動車								
事業概要 (箇条書き)	・市所有のリフト付バス1台の運行业務及び維持管理に係る調整業務。								

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	367	バス修繕料						
	役務費	104	保険料、手数料						
	委託料	256	車両維持管理業務、車両整備管理業務						
	公課費	57	重量税						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,596	1,195	1,174	1,174	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	1,596	1,195	1,174	1,174		
予算財源内訳	① 一般財源	1,596	1,195	1,174	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 533	1	0	0	
	② 配当予算	1,063	1,196	0	0	
	③ 執行額	981	784	0	0	
	④ 執行率	92.3%	65.6%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	0.19/0	0.08 /	0.08 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	1,520	640	640	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,501	1,424	640			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	利用者数(福祉バス)	人	5716/5000	4062/5700	3,716 / 5,700	/ 3,000	5,700
		0	/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	稼働日数(福祉バス)	回	141 / 200	131 / 200	116 / 200	/ 150	200
	単位あたりコスト		7.02	7.50	6.76		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	利用ニーズはあるが、民間のバスを活用することは可能である。ただし、リフト付きバスを保有する民間事業者は市内に無い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	バスの老朽化に伴う修理費用・部品取替え等の負担が発生している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	障害のある人の社会参加を促進するうえで有効である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	各種の市主催事業に使用したことにより各々のバス借上費用の軽減につながったとともに、それぞれの事業が円滑に実施ができた。		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>本事業については、平成29年度から2台あったバスを1台とし(広報バスを1台廃棄)、また法令順守の観点から福祉団体への貸出しは原則行わないこととしている。</p> <p>車椅子のまま乗降できる車両であることから、障害のある人が参加される市主催事業を優先することとしている。</p> <p>また、激変緩和の観点からこれまで貸出しを行っていた障害者のある方や高齢者の福祉団体に対してバスの借上げに対する補助制度を設けている。</p> <p>今後も市主催事業のみの運行を徹底し、安全・適正なバス運行を行っていくが、今後ますます老朽化による修繕費用が高むことが見込まれるため、買換えるのか、市でバスを所有しないのかを検討する必要がある。</p> <p>また、市主催事業のみ運行しており、福祉団体への貸出しは行わないこととなったことから、福祉保健部で市バスを管理する必要性があるのか検討する。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価			
事中事業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>今後ますます老朽化による修繕費用が高むことが見込まれるため、買換え、または、市でバスを所有しないのかを検討する。(本市のバス所有は民業圧迫との声もある。)</p> <p>合わせて、福祉保健部で市バスを管理する必要性を検討する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:)	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充	<input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---	---	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	社会福祉協議会活動費等補助事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二			
会計情報	事業コード	440107	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 114 頁
施策体系	施策コード	050201 施策名 共に支えあう地域福祉を推進する								
計画期間	開始年度	不明		終了予定年度	令和2年度 関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	地域における生活課題や福祉課題の解決に向けて具体的な取組みを進めることにより、誰もが住み慣れた地域で心豊かに安心して生活できる、お互いに支え合い・助け合う地域福祉のまちづくりを推進する。		
対象者	社会福祉法人福知山市社会福祉協議会	対象者数	1
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()		
委託先・実施主体等	社会福祉法人福知山市社会福祉協議会		
事業概要 (箇条書き)	地域福祉の推進の重要な役割を担っている福知山市社会福祉協議会に対し、その人件費及び活動事業に係る経費を支援するにより、社会福祉協議会の安定を図るとともに、本市の地域福祉を推進する。		

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	負担金補助及び交付金	47,724	市社会福祉協議会補助金

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	47,724	47,724	47,724	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	47,724	47,724	47,724	0		
予算財源内訳	① 一般財源	47,724	47,724	47,724	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	
	② 配当予算	47,724	47,724	0	0	
	③ 執行額	47,724	47,724	0	0	
	④ 執行率	100.0%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	0.28/0	0.22 / 0.00	0.22 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,240	1,760	1,760	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	49,964	49,484	1,760			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	高齢者ふれあいいきいきサロン延べ参加者数	人	24708/41500	24500/41500	25,500 / 41,500	/ 41,500	41,800
福知山市ボランティアセンターへの加入者数	人	1327/2800	1293/2800	1,429 / 2,800	/ 2,800	2,800	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	高齢者ふれあいいきいきサロン実施箇所数	箇所	159 / 160	156 / 160	159 / 160	/ 160	
	単位あたりコスト		300.15	306.00	300.15	/	
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな生活(福祉)課題が問題となっている中、誰もが住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らせるよう、お互いに助け合うまちづくりが求められており、その中核をなす社会福祉協議会への支援の必要性は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	社会福祉協議会は、地域福祉の推進を具体的に進めるための第3次地域福祉活動計画を策定しており、市の第3次地域福祉計画と連携した取組が可能である。他の委託費や補助金との重複がないかなど、人件費について詳細に確認することで補助対象経費の精査に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	地域福祉の推進状況や目標の設定については数値だけで計測できない。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の要である公益事業を行う社会福祉協議会の活動を支援することにより、地域福祉の推進(地区福祉推進協議会活動やふれあいいきいきサロンの活動推進、ふれあい福祉相談、広報紙の発行等)を図ることができた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	地域福祉推進協議会、ふれあいいきいきサロン活動、福祉教育推進事業など地域福祉にかかる細やかな事業を展開している。これら全ての事業は、地域の方々に寄り添うこと、話や相談を聞くこと、お話しをすることなど、人により実施されるものが大半であるため、人件費の確保は地域福祉事業の運営、社会福祉の推進にとって非常に重要である。これらは、物品購入や機械導入等で代替できるものではなく、高齢化が進む中より一層の人手(人件費)が必要になると想定されることから、補助金の使途について、人件費の割合の増加を検討する必要がある。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 社会福祉推進事業)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性						
事業名	地域福祉推進事業					
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課			所属長	大西健二
会計情報	事業コード	440108	款	03 民生費	項	01 社会福祉費
					目	01 社会福祉総務費
					会計	01 一般会計
					決算付属資料	114 頁
施策体系	施策コード	050201 施策名 共に支えあう地域福祉を推進する				
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	第3次福知山市地域福祉計画
根拠法令等	社会福祉法					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合					
関連事業	社会福祉推進事業					

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成30年3月に策定した「第3次福知山市地域福祉計画」に基づき、人権尊重を基本に住民相互の理解・補完・協働によって、だれもが安心して暮らせる地域づくりと社会参加を促進するとともに、福祉文化を創造し、ユニバーサル社会の形成を推進する。					
対象者	全市民	対象者数	77,581	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					
委託先・実施主体等						
事業概要 (箇条書き)	第3次福知山市地域福祉計画を広く市民に啓発し、地域が互いに支え合える福祉のまちづくりをみんなで取り組めるような仕組み、体制の整備を進める。また、社会情勢の変化へ柔軟な対応ができるよう、各施策の進行管理を行うとともに必要に応じて見直しを講ずる。					

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	使用料及び賃借料		2 高速道路通行料

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	958	351	312	47,972	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①~③)	958	351	312	47,972		
予算財源内訳	① 一般財源	958	351	312	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 369	△ 90	0	0	
	② 配当予算	589	261	0	0	
	③ 執行額	528	2	0	0	
	④ 執行率	89.5%	0.7%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	0.06/0	0.05 /	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	480	400	400	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,008	402	400			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		第3次地域福祉計画策定		計画策定	進捗管理	進捗管理	/	4次に向けた評価
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
		冊子の作成配布	回	—	1/1	/	/	
		単位あたりコスト		0.00	528.00			
				/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	各種団体や一般公募による市民等から組織された策定委員会を6回開催し、多くの方の意見を反映し、策定した第3次地域福祉計画である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	進捗管理については、まずは庁内組織による確認を行うこととし、報酬等の削減に努めている。進捗の遅延や社会情勢の変化等に対応し各施策内容の見直しを行う必要がある場合等は、必要に応じて推進委員会を開催する。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	地域福祉計画は、近年の複合化多様化した地域課題を踏まえ、地域全体での取り組むべき内容や市が包括的に取り組むべき相談体制の構築などについても言及した計画となっている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>本事業では、地域や家庭が抱える課題は福祉の領域だけに留まるものではなく、解決のためには医療・介護・福祉の連携をはじめ、住まいや就労、教育など、課題を抱えている地域・家庭側の視点から必要な支援を考える必要がある。複合化・多様化する地域課題の解決に向けて、自治会をはじめボランティアやNPO、事業者、行政などの多様な主体が連携し、地域において主体的に課題解決に取り組める体制づくりや、地域課題への包括的な支援体制の整備を進めることにより、地域福祉を推進していくための指針として、地域福祉計画を策定するものである。「地域福祉計画」の進捗状況について、地域福祉に関わる関係部局における施策の進捗状況と課題、今後の方針等について状況把握を行った。【定性的評価】</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>今後も機会を捉えて市民等への周知・啓発に努めるとともに計画で取り組むべきとした目標の進捗管理を定期的に行いながら、計画に沿った実行性のある地域福祉の推進を行う。また、必要に応じて地域福祉推進委員会を開催し、課題や具体的方策等についての協議を行うとともに、関係部署と調整を図ることで、順調な計画推進に向け取り組む。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: 社会福祉推進事業)
--------	--

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	債権管理事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二			
会計情報	事業コード	440115	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 114 頁
施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する						
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	国税徴収法、民法、福知山市債権管理条例、滞納金督促条例 等									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市全般の公私債権の未納金について、納付指導や滞納処分、法的措置、財産調査及び出張徴収による債権整理等を実施するなど、公平・公正な債権管理を行うことで、徴収率・額の向上を図る。								
対象者	債権全般に係る滞納者	対象者数	897	単位あたりコスト	22.4				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	北日本コンピューターサービス株式会社								
事業概要 (箇条書き)	差押・交付要求、法的措置による滞納処分の執行 納付困難と判断される債権に対する執行停止、徴収停止 滞納者に係る生活実態・財産調査 文書及び電話による催告 納付相談 徴収嘱託職員による訪問徴収指導 【主な利用特財】 貸付金に係る違約金(社会福祉課) 違約金及び延納利息 50千円								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	旅費	79	普通旅費、研修旅費						
	需用費	207	消耗品費、燃料費、印刷製本費						
	役務費	351	電話料、郵送料、手数料						
	委託料	6,874	システム保守業務委託料、システム連携改修業務委託料、システム改修業務委託料						
	負担金補助及び交付金	31	研修等参加負担金						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,101	11,185	1,966	1,956				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,101	11,185	1,966	1,956					
予算財源内訳	① 一般財源	1,181	11,185	230	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	920	0	1,736	1,193				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	2,101	11,185	0	0				
	③ 執行額	1,668	7,543	0	0				
	④ 執行率	79.4%	67.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常勤職員)	1.41/3.68	0.56 / 3.23	0.56 / 3.23	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	20,480	12,555	12,555	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	22,148	20,098	12,555						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	平成16年10月台風23号に伴う災害援護資金償還金	種類	貸付金元利収入	実績金額	180	決算付属資料	42	頁
	特財名称	平成25年9月台風18号に伴う災害援護資金償還金	種類	貸付金元利収入	実績金額	382	決算付属資料	42	頁
	特財名称	平成26年8月豪雨に伴う災害援護資金償還金	種類	貸付金元利収入	実績金額	3,695	決算付属資料	42	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	介護保険料収納率(滞線分)	%		26.3/25	21.9/25	27 / 25	/ 25
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	滞納処分の実施数	件	46/30	18/30	16 / 30	/ 30	30
	単位あたりコスト		34.90	92.70	471.42		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	歳入確保及び公平公正な債権整理を行うために重要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	滞納処分が執行停止、徴収停止にするかを見極め、費用対効果を考慮しながら債権整理を実施している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	公平公正な債権整理を行うことにより、安定した歳入確保ができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>《令和元年度滞納処分等の実績》 差押(公債権) ○差押件数 16件(預貯金等4件、本市租税公課の還付金12件) ○差押債権額 797,520円 (介護保険料705,820円、後期高齢者医療保険料91,700円) うち、取立した額 15件、328,643円</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	非強制徴収公債権及び私債権に係る処分行為は、裁判所の法的措置が必要で、かなりの時間と労力を要するため、滞納者の納付状況や生活状況等を的確に見極めながら、計画的かつ粘り強く債権整理を行う。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性													
事業名	(仮称) オレンジのまちづくり推進事業												
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二						
会計情報	事業コード	440121	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計	決算付属資料	114	頁
施策体系	施策コード	050201 施策名 共に支えあう地域福祉を推進する											
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	地域福祉計画、高齢者保健福祉計画、障害者計画、子ども・子育て支援事業計画							
根拠法令等	介護保険法、障害者総合支援法、障害者基本法、児童虐待防止法												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	認知症施策推進事業、手話言語・情報コミュニケーション推進事業、子育て総合相談窓口事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	高齢者・認知症分野への理解者「認知症サポーター」、障害のある人への理解を深める「あいサポーター」、子ども虐待防止推進の「オレンジリボン」、この3つのオレンジ色をシンボルカラーとする運動の意義を活かしつつ、横断的に地域で支えあい、地域共生社会の実現のために市民ひとりひとりができる範囲で参加する、オレンジのまちづくりを行う。								
対象者	福知山市民	対象者数	77,581	単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	舞台照明CREW・SOLOOK								

事業概要 (箇条書き)	障害のある人や高齢者、子どもといった分野を横断した「地域共生社会の実現」を目指して、「オレンジのまちづくりフォーラム」を開催する。								
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容			
	報償費	322	オレンジのまちづくり推進フォーラム出演に係る報償費			
印刷製本費	51	オレンジのまちづくり推進フォーラム用チラシ・看板・要約筆記用ロール紙				
委託料	23	オレンジのまちづくり推進フォーラムのパブリックビュー設営に係る委託業務				

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)		R2(本年度)		R3(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	395	784	857				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	0	395	784	857					
予算財源内訳	① 一般財源		395	392	0				
	② 国支出金		0	392	0				
	③ 府支出金		0	0	0				
	④ 地方債		0	0	0				
	⑤ その他特財		0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	1	0	0				
	② 配当予算	0	396	0	0				
	③ 執行額	0	396	0	0				
	④ 執行率		100.0%						
概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	0/0	0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	0	400	400	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	796	400						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	オレンジのまちづくり推進事業(きょうと地域連携交付金)	種類	民生費府補助金	実績金額	184	決算付属資料	24	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
		フォーラム参加アンケート(オレンジ運動を「参加したい」「広めたい」と回答された割合)	%	0	/	39 / 25	/ 50
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	オレンジフォーラム参加者数	人	0	0	253 / 400	/ 300	400
	単位あたりコスト		0.00	0.00	1.57	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<p>少子高齢化が今後急速に進展していくなかで、福祉に関する課題は更に顕在化し、さらに、高齢者、障害者、子どもに関するそれぞれの分野における課題・問題については複雑に絡み合い、複合的な支援が求められている。</p> <p>住みなれた地域で、ともに「幸せを生きる」ためには、制度や分野を超えた取組を進めていく必要があり、また行政だけでなく、住民の皆様一人ひとりが福祉について考え、支え合い、共生していける地域づくりを進めていく必要がある。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<p>フォーラムでの講演・パネリストの報償費については、通常の相場より低い金額で交渉し、出演いただいた。</p>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<p>地域共生社会の実現を目指し、キックオフイベントとして市民の意識の醸成を図るためのフォーラムを開催した。基調講演には、さわやか福祉財団会長として国や市町村に地域共生社会に関する提言を行っているなど、全国各地で強力に絆のある地域づくりを推進している堀田力氏を迎えて実施した。フォーラムでは、実施効果を測定するため、参加者にアンケートの配布を行った。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>フォーラムの参加者に対して行ったアンケートでは、基調講演の内容が「良くわかった」「わかった」が合わせて96%、フォーラムに参加して、「オレンジ運動に参加したい」と回答した方が20%、「オレンジ運動を広めたい」と回答した方が19%、「自分でできることや役割について考える機会になった」は58%となっており、オレンジ運動を開始していくうえで、フォーラムの開催は大きな効果があったと考える（「特に何も感じなかった」は2.1%）。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>フォーラムの開催には一定の効果があったが、本フォーラムを通じて、今後「オレンジ運動に参加したい」「オレンジ運動を広めたい」と感じていただいている方に対してどのようなアプローチをしていくか、また、「認知症サポーター」、「あいサポーター」、「オレンジリボン」の事業について、横断的にどのように取り組んでいくかについて、具体的に検討していく必要がある。</p>		

VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標、活動実績について、事業目的や令和2年度以降の取組も見据えて検討いただきたい。 3箇年の啓発事業なのか、その次の展開が見えにくい。最終的な目標は何なのか再度、十分な検討に努められたい。 サポーターを何人育成し、どこを目指すのかなど、研修会の開催のみではなくどのように仕掛けていくのかのストーリーが必要。 「認知症サポーター」「あいサポーター」「オレンジリボン」の3つのオレンジ色をシンボルカラーとする運動であり、幅の広いものを一つにまとめるのは非常に難しいことと思える。 フォーラムを行ったり、映画を上映することで、一つになるのかは不安である。 		
事中事業評価			

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	社会福祉大会開催事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二			
会計情報	事業コード	440203	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 114 頁
施策体系	施策コード	050201 施策名 共に支えあう地域福祉を推進する								
計画期間	開始年度	昭和35年度		終了予定年度	令和元年度 関連計画名					
根拠法令等										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	社会福祉に携わる方々で貢献のあった方を表彰し、参加者が各々の役割を確認することにより、地域福祉の向上を図る「福知山市社会福祉大会」を2年に1回開催する。								
対象者	福祉関係者、市民		対象者数	77,581		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 共同開催								
委託先・実施主体等	社会福祉法人福知山市社会福祉協議会								

事業概要 (箇条書き)	・社会福祉施設の職員やボランティアを実施している個人、団体などを表彰した。 ・令和元年度は「ふれあい福祉フェスタ」と同時開催した。								
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容
	需用費	61	消耗品費
	役務費	22	郵送料

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	323	0	224
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	0	323	0	224	
予算財源内訳	① 一般財源	0	323	0	224
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	△ 32	0	0
	② 配当予算	0	291	0	0
	③ 執行額	0	83	0	0
	④ 執行率		28.4%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常勤職員)	0.11 / 0.00		/	0.00 / 0.00
	② 概算人件費		880		0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	963	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	被表彰者出席率	%			30 / 50	/ 0	50
					/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	社会福祉大会開催回数	回			1 / 1	/ 0	1
	単位あたりコスト				82.66	/	
	単位あたりコスト				/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者や市民では実施できない、独自の事業である。 ・行政により実施できない、サービスが行き届いていない部分で福祉サービスやボランティアに従事していただいている方々に一定の感謝の意を表すべきである。 ・ただし、被表彰者のニーズが聴取できておらず、大会の開催や表彰という形が最適かどうかの確認が必要である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・費用削減やより効果的な開催に向けて、令和元年度は「ふれあい福祉フェスタ」との同時開催を実施した。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率の向上により福祉従事者間での役割確認の促進を図るとともに、当事業の有効性を図るもの。 ・開催方法の変更、他イベントとの同時開催などより効果的な方法で開催した。 ・当事業が福祉の向上にどの程度有効か、については検証、効果測定が難しい。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・前回大会終了時から、一般参加者数の増加や被表彰者の参加率の向上を図るための方法について検討を行い、他イベントの同時開催にて実施した。 ・福祉関連団体による構成される「ふれあい福祉フェスタ実行委員会」に対し、被表彰者の功績や役割について周知するとともに、来場者1,100名に対し、社会福祉大会について周知することができた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数の増加や被表彰者の出席率向上への対策についての検討を行ってきたものの、被表彰者によるニーズに基づく検討がなされていなかった。 ・次回以降の開催においては、被表彰者のニーズ調査に基づき、開催形態の変更や廃止も含めて検討する。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	総合福祉会館等施設管理事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二			
会計情報	事業コード	440204	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 114 頁
施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する						
計画期間	開始年度	昭和51年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	-				
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	福祉施設改修事業									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	総合福祉会館等を活用し、市民の福祉・文化・健康の増進及び向上を図る。								
対象者	全市民	対象者数	77,581	単位あたりコスト	0.3				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等	社会福祉法人福知山市社会福祉協議会								

事業概要 (箇条書き)	・指定管理者と連携し、総合福祉会館の維持管理及び利用促進を行った。 ・令和元年度末で指定管理者との5年間の基本協定が終了するため、新たな指定管理者の選定を行った。 ・指定管理者選定において、第三者評価委員会等により外部の専門家の意見を取り入れ、会館の在り方等について改めて検討した。								
	【主な利用特財】 施設等光熱水費(総合福祉会館) 雑入 845千円 決算附属資料44頁 自動販売機等電気代等(総合福祉会館) 雑入 61千円 決算附属資料44頁								

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	報酬	53	指定管理者選定委員会委員報酬						
需用費	257	施設修繕料							
役務費	34	建物総合損害共済基金分担金							
委託料	18,346	総合福祉会館指定管理料							
使用料及び賃借料	3	土地賃借料							

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	18,891	18,784	17,608	19,956
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	18,891	18,784	17,608	19,956	
予算財源内訳	① 一般財源	16,589	16,782	15,595	18,178
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	2,302	2,002	2,013	1,778
決算情報	① 流充用額	△ 66	△ 17	0	0
	② 配当予算	18,825	18,767	0	0
	③ 執行額	18,301	18,693	0	0
	④ 執行率	97.2%	99.6%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	0.28/0	0.24 / 0.00	0.24 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,240	1,920	1,920	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,541	20,613	1,920		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱等占用料(総合福祉会館等)	種類	民生使用料	実績金額	67	決算付属資料	10	頁
	特財名称	土地建物貸付収入(社会福祉課)	種類	財産貸付収入	実績金額	669	決算付属資料	32	頁
	特財名称	自動販売機設置貸付収入	種類	財産貸付収入	実績金額	73	決算付属資料	34	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	総合福祉会館の福祉利用率	%		62.4/80	62.01/80	68.01 / 80	/ 80
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	総合福祉会館利用者数	人	26444/35000	17133/35000	6564 / 35000	/ 35000	35000
	単位あたりコスト		0.68	1.07	2.85		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	△	<ul style="list-style-type: none"> 貸館業については民間事業者でも代替できるものであるが、当該施設については特に福祉の分野に特化し、地域福祉の拠点として高齢者、障害者などから多く利用していただいております。必要性が高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理制度の導入によりコスト削減を図っている。 指定管理者との協議により、電力会社の見直しなど経費の削減に努めている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	△	<ul style="list-style-type: none"> 主要ターゲットである高齢者、障害者等の利用は多く、また福祉関連団体による利用も図られているため一定の効果はある。 ただし、一般利用が少ないため、利用者の拡大が今後の課題である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携し、施設運営を円滑に行うとともに、市民サービスの向上を図ることができた。 耐震及び改修工事のため利用を制限したことから、利用者数は大幅に減少したものの、この機会を利用し、来年度以降の利用者増に向け、指定管理者と施設の在り方や効果測定方法、市としての方針などを改めて協議することができた。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人社会福祉協議会は指定管理以外にも多くの事業で連携をとっているため、それぞれの事業と指定管理事業の区別がはっきりしていない。 計画や方針が前年踏襲を前提としており、効果測定及び改善がなされていなかった。 指定管理者と連携し、部屋別、時間別の稼働率の計測を元に、効果的な会館の利用方法を検討していく。 		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位:千円)

I 事業属性										
事業名	福祉施設改修事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課					所属長	大西健二		
会計情報	事業コード	440210	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費	会計	01 一般会計 決算付属資料 116 頁
施策体系	施策コード	050201	施策名	共に支えあう地域福祉を推進する						
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名	-				
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	総合福祉会館等施設管理事業									

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	市民の福祉・文化・健康の増進及び向上を図るため、総合福祉会館等の老朽した施設を改修・耐震化・解体することで、利用者の利便性・安全性を図り、有効な施設活用を推進する。									
対象者	全市民	対象者数	77,581	単位あたりコスト	4.2					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	・昨年度に引き続き老朽化に伴う福知山市総合福祉会館の耐震及び改修工事を行った。 ・災害時の避難所としての機能を確保するため、室外機の移設工事を行った。 ・長期にわたる工事により、当初想定より経年劣化が進行していたため、内装について追加工事を行った。									

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	需用費	55	消耗品費						
	役務費	17	手数料						
	工事請負費	320,397	総合福祉会館耐震及び改修工事						
	備品購入費	2,762	総合福祉会館施設備品						

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	320,800	176,200	0	0
	② 補正予算	△ 27,000	0	0	0
	③ 繰越予算	△ 165,800	165,800	0	0
	前年度繰越	0	165,800	0	0
	次年度繰越	△ 165,800	0	0	0
小計(①~③)	128,000	342,000	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	1,300	10,000	0	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	123,000	332,000	0	0
	⑤ その他特財	3,700	0	0	0
決算情報	① 流充用額	66	17	0	0
	② 配当予算	128,066	342,017	0	0
	③ 執行額	127,589	323,231	0	0
	④ 執行率	99.6%	94.5%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常勤職員)	0.11/0	0.20 / 0.00	/	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	880	1,600		0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	128,469	324,831	0		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福祉施設改修事業(社会資本整備総合交付金)	種類	民生費国庫補助金	実績金額	3,000	決算付属資料	18	頁
	特財名称	福祉施設改修事業(緊急防災・減災)	種類	民生債	実績金額	221,600	決算付属資料	50	頁
	特財名称	福祉施設改修事業(旧合併特例債)	種類	民生債	実績金額	84,600	決算付属資料	50	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	工事設計実施件数	件	2 / 2	-	0 / 0	/ 0	0
工事実施件数	件	/	2 / 2	3 / 1	/ 0	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	改修対象施設数	施設	2 / 2	2 / 2	1 / 2	/ 0	0
	単位あたりコスト		9041.00	63794.50	323231.49	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	・公共施設マネジメント実施計画に基づき、施設の改修、除去を行うものであり必要性が高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	・入札による価格競争を取り入れており、十分なコスト削減を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	・所管する施設の一層の活用又は除去による将来的な費用負担の軽減に寄与している。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	・福知山市総合福祉会館の利用者の安全性確保、利便性向上及び施設の利用促進を図る。		
これまでの課題及び今後の方向性	・民間譲渡が見送りとなった夜久野ふれあいの里多目的広場については、今後大きな修繕が必要となった場合、取り壊す方針で利用者、自治会等への説明を行っていく。		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和元年度で事業終了

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---

福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	災害見舞金事業									
事業担当	所属	福祉保健部 社会福祉課				所属長	大西健二			
会計情報	事業コード	420395	款	03 民生費	項	04 災害救助費	目	01 災害救助費	会計	01 一般会計 決算付属資料 144 頁
施策体系	施策コード	050201 施策名 共に支えあう地域福祉を推進する								
計画期間	開始年度	昭和47年度		終了予定年度	令和2年度 関連計画名					
根拠法令等	福知山市災害見舞金等交付要領									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	福知山市において災害により被害を受けた市民に対し、見舞金を支給し必要な援助を講じることにより、住民福祉及び生活の安定に資することを目的とする。								
対象者	災害により被害を受けた市民			対象者数	単位あたりコスト				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	自然災害や火災により被害を受けた市民や、現に住んでいる住居に被害を受けたもの、又は死亡したものの家族に対して、被害の程度に応じた見舞金を支給する。								

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容	
	旅費	10	研修旅費	
役務費	20	郵送料		
扶助費	380	災害見舞金		

III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	558	558	547	546				
	② 補正予算	3,231	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	3,789	558	547	546					
予算財源内訳	① 一般財源	3,789	558	547	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	2,008	0	0	0				
	② 配当予算	5,797	558	0	0				
	③ 執行額	5,797	410	0	0				
	④ 執行率	100.0%	73.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/非常職員)	0.64/0.32	0.40 / 0.11	0.40 / 0.11	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	5,920	3,475	3,475	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,717	3,885	3,475						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	災害見舞金返還金(社会福祉課)	種類	雑入	実績金額	10	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	制度利用者数	件	90/10	277/10	4 / 10	/ 10	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	制度周知回数	件	2/1	2/1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		975.50	2898.50	409.65		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	被災時における生活支援として重要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	他市の見舞金の支給状況等を比較・検討しながら見舞金を支給をする。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	災害により被災した方に対して速やかに見舞金を支給することにより、福祉及び生活の安定に資することができる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	災害時等における生活支援策として、一定の役割を果たしたと考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	災害時等の生活支援策として有益な事業であり、今後も継続させる予定である。 ※令和2年4月より、一部額の改正を実施		

VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	---